

問1 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に向けた国際的な動向について、その背景や仕組みを正しく説明しているものはどれですか。

(2025年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 先進国が排出枠を途上国に売却する仕組みを導入することで、世界全体の工業化を一時的に停止させることを目指している。 | 2. 石炭や石油などの化石燃料の使用を抑え、二酸化炭素の排出を抑制することで、地球全体の平均気温の上昇を抑えようとしている。 | 3. 森林面積の減少を防ぐため、すべての国に対して木材の輸出入を全面的に禁止する条約がパリ協定の主軸となっている。 | 4. 酸性雨による被害を防ぐため、硫酸化物の排出を制限することが地球温暖化対策の最も直接的な目的である。 |
|---|--|---|--|

問2 日本において、賃金や労働時間、休憩などの労働条件について、使用者が守らなければならない最低基準を定めている法律は何ですか。 (2026年

栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|------------|--------------|----------|
| 1. 労働組合法 | 2. 労働関係調整法 | 3. 男女雇用機会均等法 | 4. 労働基準法 |
|----------|------------|--------------|----------|

問3 東経135度を標準時とする日本が「1月1日の午前9時」であるとき、西経60度を標準時とするブエノスアイレスの現地時刻はいつになりますか。ただし、サマータイム(夏時間)などは考慮しないものとします。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 1. 前日の12月31日、午後8時 | 2. 前日の12月31日、午前4時 | 3. 翌日の1月2日、午前10時 | 4. 同じ日の1月1日、午後10時 |
|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|

問4 自由民権運動が全国的な盛り上がりを見せた背景として、当時の人々が明治政府に対して抱いていた不満や批判の内容として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 特定の藩の出身者たちが権力を握り、自分たちの意向で政治を動かしていた点 | 2. 第一次世界大戦後の国際協力体制を拒否し、鎖国に近い状態を目指していた点 | 3. 江戸時代の幕藩体制を復活させ、将軍による統治を継続しようとしていた点 | 4. 選挙権をすべての成人男女に与えることを拒み、納税額による制限を維持した点 |
|--|--|---------------------------------------|---|

問5 日本は近年、特定の国や地域との間で、貿易の自由化に加えて投資や人の往来、知的財産の保護などを含めた幅広い経済協力を行う協定を重視しています。このような協定を何と呼びますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------|
| 1. 自由貿易協定 (FTA) | 2. 世界貿易機関 (WTO) | 3. 経済連携協定 (EPA) | 4. アジア太平洋経済協力 (APEC) |
|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------|

問6 日露戦争の終結からその後の国内情勢について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 北清事変(義和団事件)の影響で米の価格が急騰したため、地方から都市部へと暴動が広がり、内閣が退陣した。 | 2. ボーツマス条約の締結によって日本は多額の賠償金を得たため、国内では戦後恐慌が起こることなく景気が回復した。 | 3. ロシアとの戦争に勝利したことで国民の政府への信頼が高まり、桂太郎内閣のもとで憲政の常道が確立した。 | 4. 講和内容に不満を持つ人々が日比谷公園で反対集会を開き、警察署などを襲撃する日比谷焼き打ち事件が発生した。 |
|--|--|--|---|

問7 古代日本の生活文化について述べた次の文のうち、衣料に関する記述として正しいものを選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 古墳時代の有力者は、麻のほかにも絹を用いた衣服を身につけることもあった。 | 2. 当時の技術では植物繊維を利用することができず、衣服のすべてが動物の皮で作られていた。 | 3. 弥生時代には稲作とともに綿の栽培も伝わり、民衆の服の多くは綿製であった。 | 4. 古代の日本列島では乾燥した気候を活かした羊の飼育が盛んで、羊毛が主な原料だった。 |
|---|---|---|---|

問8 日本の経済において、電気、ガス、水道料金や鉄道運賃などは、国や地方公共団体が価格の決定に関与したり、改定に際して認可が必要とされたりします。このように、国民生活への影響が非常に大きいために公的な機関が管理している料金を何と呼びますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 卸売価格 | 2. 自由価格 | 3. 公共料金 | 4. 時価 |
|---------|---------|---------|-------|

問9 明治政府が、それまでの米による納税(物納)を廃止し、地価を基準とした現金による納税(金納)を導入した主な目的は何ですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 江戸時代から続く重い年貢の負担から農民を解放し、農村の生活水準を向上させて消費を活性化させるため | 2. 天候による収穫量の増減や、市場での米価の変動に左右されず、政府が毎年一定の税收を確保できるようにするため | 3. すべての土地を政府の所有(公地公民)に戻し、国が直接農業経営を行うための運営資金を調達するため | 4. 米の流通量を制限することで、都市部における米価の急騰を抑え、工業労働者の生活を安定させるため |
|---|---|--|---|

問10 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため | 2. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため | 3. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため | 4. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため |
|---------------------------------------|--|---|---|

問11 廃棄された家電製品や電子機器の中には、銅やレアメタルなどの有用な資源が大量に含まれています。これらを資源として捉え、回収・再利用する仕組みを、地中にある資源になぞらえて何と呼びますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------------|------------|---------|
| 1. 都市鉱山 | 2. 資源循環センター | 3. リサイクル工場 | 4. 産業集積 |
|---------|-------------|------------|---------|

問12 平安時代に行われた「院政」と「摂関政治」の違いについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 院政は鎌倉に幕府を開いて行われた政治であり、摂関政治は京都の御所を中心に行われた政治である。 | 2. 院政は平氏や源氏などの武士が中心となって行う政治であり、摂関政治は公家を中心となって行う政治である。 | 3. 院政は聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした政治であり、摂関政治は白河上皇が始めた新しい政治体制である。 | 4. 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。 |
|---|---|---|---|

問13 豊橋市の農業は、生産した農作物を新鮮な状態で大都市へ出荷できるという利点を持っています。このような農業が発展した背景にある、地理的な交通条件についての説明として正しいものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 国際貿易港が隣接しており、航空機を利用した海外への鮮度保持輸送が可能のため | 2. 東名高速道路のインターチェンジが近く、大都市へ迅速にトラック輸送できるため | 3. 広大な干拓地を活かして大規模な自動化農場を建設し、生産コストを抑えたため | 4. 涼涼な高冷地の気候を活かし、他の地域が生産できない夏場に供給できるため |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 石炭や石油などの化石燃料の使用を抑え、二酸化炭素の排出を抑制することで、地球全体の平均気温の上昇を抑えようとしている。	地球温暖化は、産業活動などによって排出される二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの濃度が高まることで進行します。これを防ぐため、国際社会は化石燃料への依存を減らし、再生可能エネルギーへの転換などを通じて気温上昇を一定水準に抑えることを目標としています。酸性雨やオゾン層破壊は別の環境問題であり、温暖化対策の直接的な目的ではありません。
問2	答え 4 労働基準法	日本国憲法第27条の規定に基づき、労働者が人間らしい生活を送るための労働条件の最低基準を定めた法律です。この法律で定められた基準を下回る契約は無効となり、強制的に法律の基準が適用されるという強い効力を持っています。
問3	答え 1 前日の12月31日、午後8時	日本（東経135度）とブエノスアイレス（西経60度）の時差は13時間です。地球は東から順に夜明けを迎えるため、西側に位置するブエノスアイレスは、日本よりも時刻が13時間遅れていることになります。日本時間の1月1日午前9時から13時間を引き算すると、9時間戻した時点で1月1日の午前0時となり、さらに残り4時間を戻すことで前日の午後8時（20時）に到達します。
問4	答え 1 特定の藩の出身者たちが権力を握り、自分たちの意向で政治を動かしていた点	当時の政府は薩摩（鹿児島県）や長州（山口県）などの出身者が実権を握る「藩閥（はんぱつ）政治」を行っていました。この一部の勢力による独占的な政治運営に反発した人々が、国民の代表による議会（国会）の設置を求めて立ち上がったことがこの運動の大きな要因です。
問5	答え 3 経済連携協定（EPA）	自由貿易協定（FTA）が主に関税の撤廃などの「貿易の自由化」を目的とするのに対し、経済連携協定（EPA）はそれに加えて、投資、サービス、知的財産、人の移動、ビジネス環境の整備など、より広範な分野での連携を含みます。CPTPPもこのEPAの代表的な事例の一つです。WTOは世界の自由貿易を推進する国際機関、APECは経済協力のための枠組みであり、特定の協定そのものを指すものではありません。
問6	答え 4 講和内容に不満を持つ人々が日比谷公園で反対集会を開き、警察署などを襲撃する日比谷焼き打ち事件が発生した。	ポーツマス条約の講和条件が期待を下回るものだったため、1905年に東京の日比谷公園で反対集会が開かれました。これが暴徒化して警察署、官邸、お雇い外国人がいた教会などが襲撃される日比谷焼き打ち事件へと発展し、政府は東京に戒厳令を敷いて鎮圧する事態となりました。なお、米価高騰による暴動は1918年の米騒動であり、混同に注意が必要です。
問7	答え 1 古墳時代の有力者は、麻のほかに絹を用いた衣服を身につけることもあった。	弥生時代や古墳時代には、すでに麻や絹を織る技術が存在していました。特に身分の高い人物は、貴重な絹を用いた衣服を着用していたことが遺跡の出土品などから確認されています。綿（木綿）や羊毛（ウール）が日本の衣料の主流となるのは、中世以降や近代になってからのことです。
問8	答え 3 公共料金	電気やガス、水道、郵便、鉄道などは、人々の生活を支える不可欠なインフラ（ライフライン）です。これらは市場の自由な競争に任せると、独占的な企業によって価格が不当に引き上げられる恐れがあるため、政府や地方公共団体が介入して家計の安定を図っています。
問9	答え 2 天候による収穫量の増減や、市場での米価の変動に左右されず、政府が毎年一定の税収を確保できるようにするため	江戸時代までの年貢制度では、収穫量や米価によって政府（幕府や藩）の収入が大きく変動し、国家の予算を立てることが困難でした。近代国家の建設を急ぐ明治政府は、軍備の増強や産業の育成（富国強兵・殖産興業）に多額の資金を必要としたため、土地の価値である「地価」を基準に、豊作や不作に関わらず一定の金額を「現金」で納めさせることで、安定した財源を確立しようとしたのです。
問10	答え 4 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百濟、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとしたのです。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問11	答え 1 都市鉱山	都市部で大量に廃棄される製品の中に貴重な資源が眠っている状態を「都市鉱山」と呼びます。この都市鉱山から資源を回収しリサイクルすることで、天然資源の消費を抑え、鉱山からの産出量以上の金属製品を生産することが可能になります。
問12	答え 4 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。	摂関政治は、藤原氏が娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父（外戚）として摂政や関白の地位に就き実権を握る仕組みでした。これに対し、院政は藤原氏と血縁関係の薄い後三条天皇の後の白河上皇が、藤原氏の影響を排除するために自ら政治を主導した仕組みを指します。
問13	答え 2 東名高速道路のインターチェンジが近く、大都市へ迅速にトラック輸送できるため	豊橋市は日本の大動脈である東名高速道路のインターチェンジに近いという立地上の強みがあります。これにより、中京圏だけでなく関東や関西といった巨大な消費地（大都市）に対して、収穫から短時間で農作物を届けることができます。このように大都市の需要に合わせて新鮮な農作物を供給する仕組みは、近郊農業的な性格を強く持っています。